corega HUB-8B

10M イーサネット HUB

取扱説明書

この度は、corega HUB-8B をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をお読みになり、正しい設置を行ってください。また、お読みになった後も、大切に保管してください。

製品概要

corega HUB-8B は、10BASE-T インターフェイスを 8 ポート装備したイーサネット・ハブです。
バックボーンポートとして、10BASE5（AUI）と 10BASE2（BNC）インターフェイスを各1ポート備え、すべて同時に使用することができるため、多様なネットワーク環境に対応します。

- コンパクトなボディサイズ
- AC 電源ユニットを内蔵
- カスケード接続専用のポートを 1 ポート装備
- ネットワークや機器の状態が一目でわかる LED 表示機能

同梱品一覧

最初に下記の付属品が入っていることを確認してください。万一、欠品、不良などがございましたら、お買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

- corega HUB-8B (本体)
- 電源ケーブル（AC100V ～ 120V 用）
- シリアル番号シール
- 取扱説明書（本書は製品保証書もかねております）

再梱包

本製品を移送する場合、工場出荷時とおなじ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

各部の名称と機能

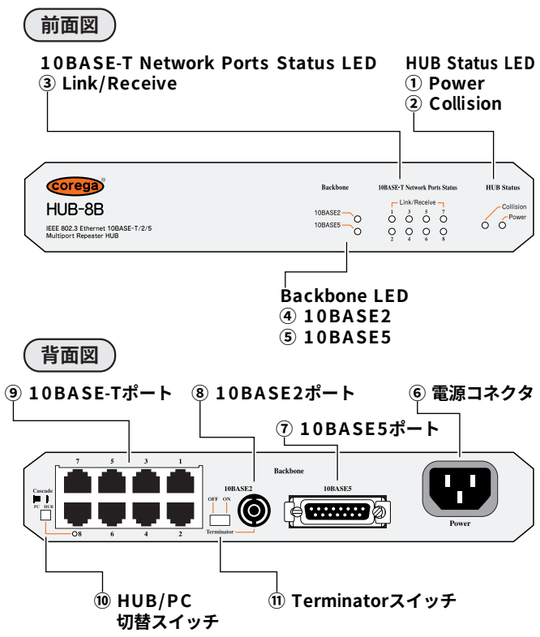


図 1　外観図

① Power（緑）
電源が正しく供給されているときに点灯します。

② Collision（橙）
コリジョンが発生した場合に点灯します。

③ Link/Receive（緑）
10BASE-T ポートが正常にリンクされ、相互に通信が可能な状態のときに点灯します。
また、10BASE-T ポートでパケットが正しく受信されているときに点滅します。

④ 10BASE2（緑）
10BASE2（BNC）ポートでパケットが正しく受信されているときに点灯します。

⑤ 10BASE5（緑）
10BASE5（AUI）ポートでパケットが正しく受信されているときに点灯します。

⑥ 電源コネクタ
電源ケーブルを接続し、電源を入れるためのコネクタです。

⑦ 10BASE5（AUI）ポート
10BASE5 のトランシーバケーブル（AUI ケーブル）を接続するためのコネクタです。

⑧ 10BASE2（BNC）ポート
10BASE2 のシンワイヤーケーブル（細径同軸ケーブル）を接続するためのコネクタです。

⑨ 10BASE-T ポート
10BASE-T の UTP ケーブル（シールドなしツイストペアケーブル）を接続するためのコネクタです。

⑩ HUB/PC 切替スイッチ
ポート 8 をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-Tポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。

HUB　▂▁（スイッチが押し込まれた状態）
カスケード接続をするときのカスケードポート（**MDI**）として使用します。

PC　▁▂（スイッチが飛び出している状態）
通常の 10BASE-T ポート（**MDI-X**）として使用します。

⑪ Terminator スイッチ
10BASE2（BNC）コネクタに内蔵された50Ωのターミネータ（終端器）の ON/OFF を設定します。

ON （右）
本製品をシンワイヤーケーブルの端に設置する場合は「**ON**」に設定し、シンワイヤーケーブルのBNCコネクタ（オス）を直接接続します。

OFF（左）
本製品をシンワイヤーケーブルの途中に設置する場合は「**OFF**」に設定し、T 型バルブを用いて 2 本のシンワイヤーケーブルを接続します。
このとき、2本のシンワイヤーケーブルの両端は、それぞれ 50 Ωのターミネータで終端させてから、T 型バルブに接続してください。

設置するまえに

● 本製品を設置する前に、「使用および取り扱い上の注意」(本文書の裏面) を必ずお読みください。また、本製品を設置する場所については、次の点にご注意ください。

○ 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
○ 傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。
○ 充分な換気ができるように、本体側面をふさがないように設置してください。
○ テレビ、ラジオ、無線機などの側に設置しないでください。

● 電源
本製品を AC100V ～ 120V の電源電圧で使用する場合は、同梱の電源ケーブルを使用してください。
また、指定された電源電圧以外で使用しないでください。
不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

接続のしかた

● ケーブル
すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。
ケーブルの最長距離については、次の表を参考にしてください。

	ケーブルの種類	ケーブルの最長距離
10BASE-T	UTPケーブル (カテゴリー3/4/5)	100m
10BASE2	シンワイヤーケーブル (5mm径)	185m
10BASE5 (幹線)	イエローケーブル (12mm径)	500m
10BASE5 (支線)	トランシーバ（AUI）ケーブル	50m

● 起動と停止
電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込むと起動します。
電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントから抜くと停止します。
本製品には電源スイッチがありません。
電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
また、電源ケーブルのプラグ側を電源コンセントに差し込んだまま、ソケット側を抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。

● 接続手順
1. 本体背面の10BASE-Tコネクタに UTP ケーブルを接続します。

2. ネットワークに接続する端末に、10BASE-T ネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTP ケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。

3. 10BASE2 をバックボーンとする場合は、本体背面の 10BASE2 ポートにシンワイヤーケーブルを接続します。
本製品をシンワイヤーケーブルの端に設置する場合は、Terminator スイッチを「ON」に設定し、シンワイヤーケーブルの BNC コネクタ（オス）を直接接続します。
本製品をシンワイヤーケーブルの途中に設置する場合は、Terminator スイッチを「OFF」に設定し、T 型バルブを用いて 2 本のシンワイヤーケーブルを接続します。
このとき、2 本のシンワイヤーケーブルの両端はそれぞれ 50 Ωの BNC 用ターミネータで終端させてから、T 型バルブに接続してください。

   10BASE5 をバックボーンとする場合は、本体背面の 10BASE5 ポートにトランシーバケーブル（AUI ケーブル）を用いてトランシーバを接続します。

4. 電源ケーブルのソケット側を本体背面の電源コネクタに接続し、プラグ側を電源コンセントに差し込みます。
本体前面 HUB Status LED の Power LED（緑）が点灯したことを確認します。
UTP ケーブルが正しく接続されていれば、接続したポートの Link/Receive LED（緑）が点灯します。

ネットワーク構成

各メディアをネットワークバックボーンとして接続する場合の構成例を図で示します。

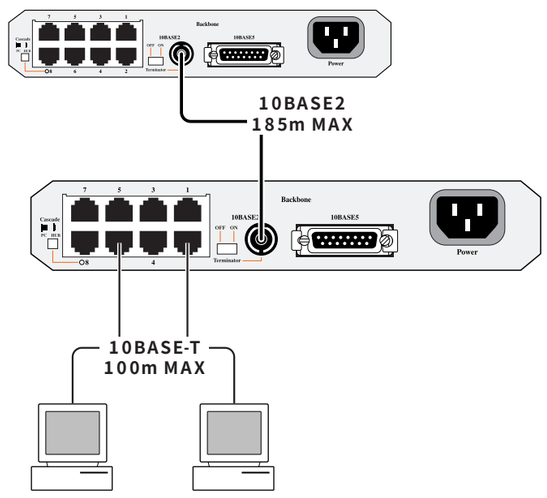


図 2　10BASE2 を接続した例

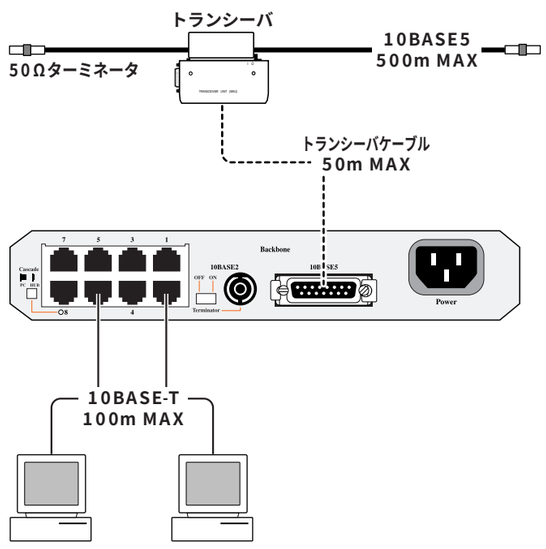


図 3　10BASE5 を接続した例

カスケード接続

ポート 8 をカスケード接続用ポートとして使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続をすることができます。

● 接続手順
1. 本体背面のポート8にUTPケーブル（ストレートタイプ）を接続します。

2. HUB/PC 切替スイッチを「HUB」（MDI）に設定します。

3. UTP ケーブル（ストレートタイプ）のもう一方の端を、接続先の機器の通常の 10BASE-T ポートに接続します。
接続先が同一製品のポート 8 の場合は、接続先の HUB/PC 切替スイッチは「PC」（MDI-X）に設定します。

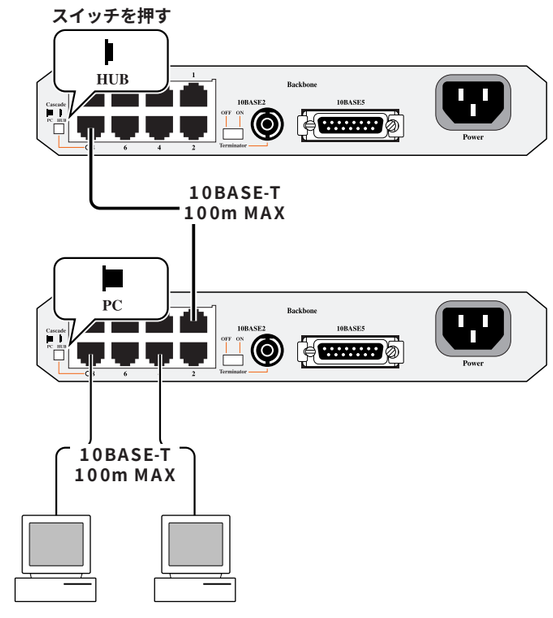


図 4　カスケード接続の例

リピータ（＝ハブ）のカスケード接続は、最大4台までとされています（これは通信が正常に行われるためのルールで、IEEE802.3 によって規定されています）。
図5のように5台以上のハブをカスケード接続しないでください。
ポートの数を増やすためにカスケード接続をする場合は、スター型の構成にすることをおすすめします。

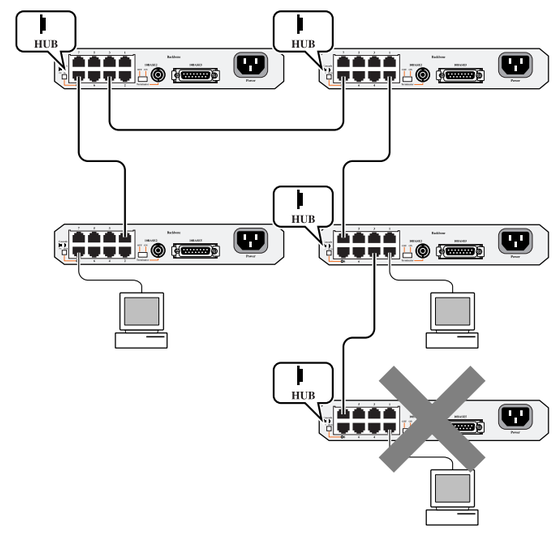


図 5　カスケード接続の段数を超えた例

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● Power LED は点灯していますか？
Power LED が点灯していない場合は、AC アダプターの DC プラグや AC プラグが正しく接続されているかどうか確認してください。なお、本製品には、電源スイッチはついていません。

● Link/Receive LED は点灯していますか？
Link/Receive LED は接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

○ 接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。
また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

○ UTP ケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTP ケーブルが断線していないかなどを確認してください。
また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。
本製品と端末を接続するケーブルの長さ、本製品とリピータやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて 100m 以内です。

○ HUB/PC 切替スイッチを確認してください。
本製品のポート 8 を使用して、リピータやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品の HUB/PC 切替スイッチを「HUB」（MDI）に設定してください。
本製品のポート8同士をカスケード接続する場合は、一方を「HUB」（MDI）に、もう一方を「PC」（MDI-X）に設定します。

○ 特定のポートが故障している可能性もあります。
ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

○ リピータ（＝ハブ）の数が制限を超えていないかを確認してください。
カスケード接続ができるハブの台数は、最大 4 台までとされています。
本書の「カスケード接続」の項を参考にして、適切な接続を行ってください。

● Terminator スイッチは正しく設定されていますか？
シンワイヤーケーブルの両端に10BASE2用ターミネータが正しく接続されているかどうか、また、両端のターミネータ以外に余計なターミネータが接続されていないかどうかを確認してください。
Terminator スイッチを「ON」に設定した場合は、本体内蔵のターミネータが ON になりますので、ターミネータを接続する必要はありません。
シンワイヤーケーブルの BNC コネクタを直接 10BASE2 ポートへ接続します。
10BASE2 ポートに、T 型バルブを用いて 2 本のシンワイヤーケーブルを接続する場合は、本体内蔵のターミネータをOFFにする必要があります。
その場合は、TERMINATOR スイッチを「OFF」に設定し、それぞれ 50 Ωのターミネータを接続した 2 本のシンワイヤーケーブルを T 型バルブに接続してください。

製品保証書（1年保証）

この製品保証書は、株式会社コレガが定める製品保証規定（裏面）に基づき、製品の無償修理をお約束するものです。

製 品 名　corega HUB-8B

シリアル番号
（S/N）

ご購入日

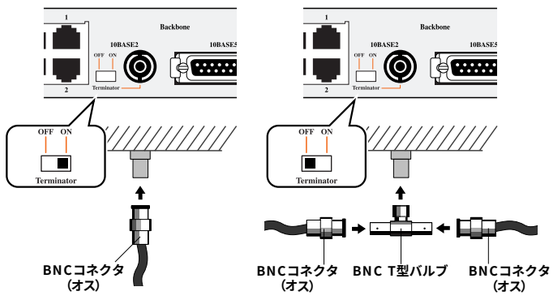
製品保証に関するお問い合わせ先
corega サポートセンター
住所：〒 222-0033 横浜市港北区新横浜 1-19-20
TEL：045-476-6268　FAX：045-476-6294
受け付け時間：10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00
月～金（祝・祭日を除く）

販売店様印

※ 製品名、シリアル番号、ご購入日をご記入ください。

PN J613-M2575-00 Rev.A
FN coregaHUB-8B.Rev.A

T型バルブを使用しない場合　T型バルブを使用する場合



推奨ケーブル

● **10BASE-T ケーブル**
ストレート結線で、カテゴリ 3 以上のＵＴＰ ケーブル (Unshielded Twisted Pair Cable ＝シールドなしツイストペアケーブル)を使用してください。

製品仕様

○ **サポート規格**
IEEE802.3

○ **電源部**

定格入力電圧	：	AC100 - 120 V
入力電圧範囲	：	AC90 ～ 132V
定格周波数	：	50/60Hz
平均消費電力	：	12W(最大 15W)
発熱量	：	10kcal/h(平均)(最大 13kcal/h)

○ **環境条件**

保管時温度	：	-20 ～ 60℃
保管時湿度	：	95% 以下 (ただし、結露なきこと)
動作時温度	：	0 ～ 40℃
動作時湿度	：	80% 以下 (ただし、結露なきこと)

○ **外形寸法(突起部含まず)**
： 210(W)x107(D)x38(H)mm

○ **重量**
： 680g(本体のみ)

○ **適用規格**
EMI ： VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(ＶＣＣＩ)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証

本書に記載されている「製品保証規定」をお読みください。

corega製品の情報を知りたいときには

当社のホームページに、最新情報や製品についてのＱ＆Ａなどを掲載しています。どうぞご利用下さい。

● corega のホームページにアクセスして下さい！
http://www.corega.co.jp

● corega Net-News を購読しませんか？
http://www.corega.co.jp/inter/news/news.htm
corega Net-News は、コレガ社がお届けするメール配信サービスです。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先に FAX してください。
電話による直接の問い合わせはなるべくご遠慮ください。
FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。
記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

Tel: **045-476-6268**
月～金(祝・祭日を除く)
10:00-12:00、13:00-17:00
Fax: **045-476-6294**
年中無休 24 時間

調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。
迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。
記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

使用しているハードウエアについて

- 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。

(例) S/N 000770000002346 Rev AA

お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 1999 株式会社コレガ

商標

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

マニュアルバージョン

1999 年 3 月 Rev.A 初版

調査依頼書（corega HUB-8B）

年　月　日

一般事項

1. 御社名：
　部署名：　ご担当者：
　ご連絡先住所：〒

　TEL:(　)　FAX:(　)
2. 購入先：　購入年月日：
　購入先担当者：　購入先(TEL):(　)

ハードウエアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウエア機種（製品名)、シリアル番号、リビジョン

製品名： corega HUB-8B

S/N＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ Rev＿＿

2. お問い合わせ内容　□別紙あり　□別紙なし

□設置中に起こっている障害　□設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図　□別紙あり □別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項は必ず守ってください。守られていない場合、感電や怪我、火災、故障の原因となります。

ケースを外さないでください。
本装置の内部には高電圧の箇所が存在します。感電の恐れがありますので、絶対にケースを外さないでください。ユーザーに必要な部品は内包されていません。

稲妻危険
稲妻が発生しているとき、ケーブルの配線などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

正しい電源を使ってください。
本装置は、AC100-120Vで動作します。ご使用の前に必ずご確認ください。なお本装置に付属の電源ケーブルは 100V 用ですので、ご注意ください。

正しい電源ケーブルおよびコンセントを使用してください。
本装置に電源を供給する場合には、必ず電源電圧に適合した電源ケーブルをご使用ください。日本国内などで100Vでご使用になる場合は、本装置に付属の電源ケーブルをご使用ください。不適切な 電源ケーブルや電源コンセントをご使用になった場合にお客様が被った損害についてはいかなる責任も負いかねます。

電源ケーブルは無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、圧力がかかりコードがつぶれてしまうような箇所に電源ケーブルを敷設しないでください。

たこ足配線をしないでください。
テーブルタップをご使用になる場合、たこ足配線をしないでください。たこ足配線は、火災の原因になります。

通気口をふさがないでください。
本装置の通気口をふさがないでください。通気口をふさいだ状態で本装置を使用すると、加熱などにより故障、火災の恐れがあります。

取り扱いは丁寧に
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

動作温度
本装置は、周囲温度 0 ～ 40 ℃の範囲でご使用ください。特に、本装置をラックなどに組み込んでご使用になる場合、換気には十分ご注意ください。

異物を入れないでください。
通気口から金属や液体などの異物を入れないでください。本体内部に異物が入ると火災、感電などの恐れがあります。

設置、ケーブル配線、移動は電源を抜いて
本装置の設置や移動、ケーブル配線などを行う場合は、必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。

次のような場所での使用や保管はしないでください。
・直射日光の当たる場所
・暖房器具の近くなどの高温になる場所
・急激な温度変化のある場所 (結露するような場所)
・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所 (湿度 80 % 以下の環境でご使用ください)
・振動の激しい場所
・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所 (静電気障害の原因になります)
・腐食性ガスの発生する場所

日常のお手入れ
本装置の汚れは、乾いたやわらかい布でふきとってください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変形や変色の原因になります。

製品保証規定

■この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において、取り扱い説明書などにしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず故障が発生した場合に、無償修理をお約束するものです。
・ハードウェア本体：製品保証書に記載の “ 保証期間 ” で無償保証とします。
（但し、本規定の他の条項に準じます。）
・本体付属品　：90 日保証
■保証期間内の無償修理は、故障製品を弊社までお送りいただき、修理完了品または代替品をお客様に返送することとします。表面の製品保証書に記載された「製品保証に関するお問い合わせ先」まで故障製品を送付してください。送料はそれぞれ送付元負担とさせていただきます。
■保証期間内であっても次の項目に該当する場合は、無償修理の適用外とさせていただきます。（ただし、無償修理の適用外であっても有料での修理または代替品への交換・サービスはご利用いただけます。）
1. 使用上の誤り、または不当な修理や改造によって生じた故障および損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下などによって生じた故障および損傷
3. 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧などの外部要因によって生じた故障および損傷
4. 接続された他の機器が原因で生じた故障および損傷
5. 車両、船舶などに搭載されたことによって生じた故障および損傷
6. 消耗品の交換(バックアップ電池など)
7. 製品保証書の提示がない場合
8. 製品保証書の所定事項に記入がない場合、または字句を不当に書き換えられた場合

■修理によって交換された代替品、不良部品の所有権は弊社に帰属するものとします。
■製品保証規定は、本製品についてのみ無償修理をお約束するもので、本製品の故障または使用によるその他の損害については、弊社はその責を一切負わないものとします。
■製品保証書は、日本国内のみで有効です。
■製品保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。